

# パイロット



2021 Summer

Japan Aircraft Pilot Association



写真提供: ANA Cargo

<https://www.japa.or.jp>



## 『公益社団法人 日本航空機操縦士協会のめざすもの』

1. 私達の活動の目的は、定款に定められた通り「航空技術の向上を図り、航空の安全確保につとめ航空知識の普及と諸般の調査研究を行い、もって我が国航空の健全な発展を促進する」ことです。
2. 私達は、定款の目的を踏まえ、将来のあるべき姿として「安全で誰からも信頼され、愛される航空を実現する」というビジョンを描いています。
3. 私達は、目的・ビジョンを達成するために下記を基本的指針に掲げて活動して行きます。
  - (1) 航空の安全文化を構築する。  
(組織と個人が安全を最優先する気風や習慣を育て、社会全体で安全意識を高めて行くこと)
  - (2) 地球環境と航空の発展との調和を図る。
  - (3) 航空に携わるもの同士が心を通わせ共存共栄を図る。

# パイロット 2021 Summer INDEX

03 専務理事挨拶 / 専務理事 畑辺 三千夫

05 FTD・ポータブルFTDの紹介 / 専務理事 畑辺 三千夫

06 第56回総会報告 / 事務局

07 小型航空機セーフティセミナー / ビジネス航空委員会

08 パイロット健康管理 豆知識 / 副会長 中島 一郎

10 国際航空貨物について / 常務理事 山村 洋司

12 Fly with us ~空の仕事ワークショップ~イベント / エアライン委員長 田中 天兵

13 表彰報告

14 セミナー・講習会開催時のガイドラインについて

15 職員紹介・福利厚生を紹介

16 セミナー開催案内 その他ご案内



# コロナ禍の中での 令和3年度事業計画と 活動の展望

専務理事

畑辺 三千夫



2021年6月18日、羽田空港第3ターミナル TIAT SKY HALL において第56回通常総会が開催されました。

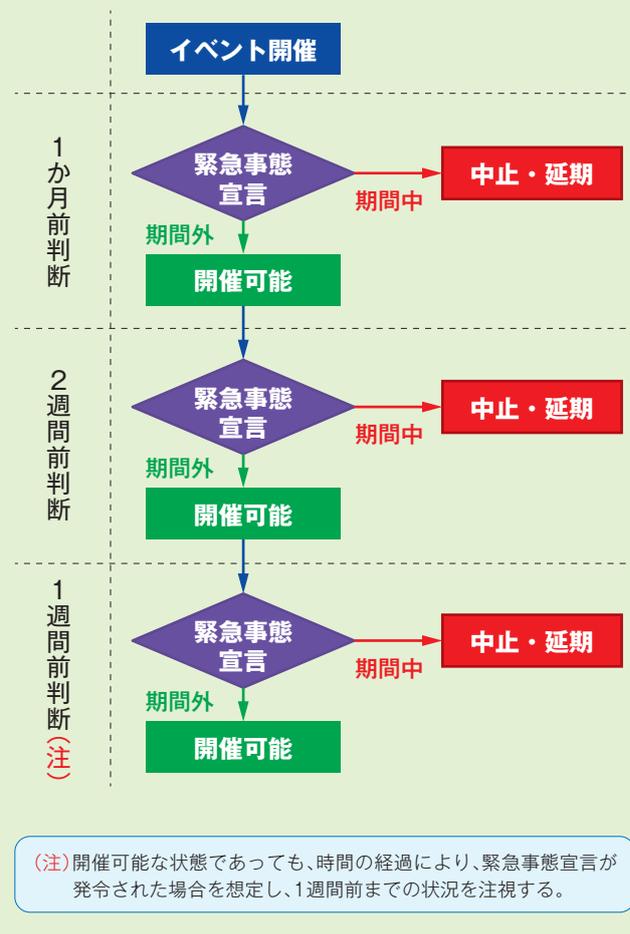
新型コロナウイルス感染症にかかわる緊急事態宣言が発出されていましたが、出席者の健康・安全を確保する観点から、実際に会場に入られる出席者を少なくして開催しました。前回に続き議決権行使方式を含めて「令和2年度事業報告及び決算報告」について承認をいただくとともに、「令和3年度事業計画及び予算について」の報告を行いました（詳細は4ページの事業一覧表・および6ページの第56回総会報告をご参照ください）。

さて、ワクチン接種が始まったとは言え、未だ収束の見通しが立たない新型コロナウイルス感染症ですが、令和3年度事業計画に盛り込んだ活動の実施にあたっては、昨年度の活動を参考にしつつ、多人数を集めて開催します各種シンポジウム、セミナー、講習会等については、実開催実施基準を明確にし（下図「イベント実開催判断フロー」をご参照ください）、新型コロナウイルス感染症対策を徹底した上で、オンライン開催等も検討しながら、安心かつ安全な活動が出来るように努めて参ります。特に、夏期には2020東京オリンピック・パラリンピック開催に伴う人流増加の影響により新型コロナウイルス感染症の感染拡大が懸念されますため、国や各都道府県による各種要請を注視しつつ、慎重に対応して参ります。

事業別活動の中では、今年度より新たな組織として立ち上げた広報・企画委員会による航空への親しみや興味を広げる取り組みを推進しますとともに、これまで「Yes I Can 航空教室」として開催してきた裾野拡大事業を「Fly with us ～空の仕事ワークショップ～」と改称し、引き続き各地域支部の協力も得ながら、より一層充実した裾野拡大事業となるよう取り組んで参ります。また、裾野拡大・技術習熟支援の方針に基づいて計画していますFTD事業につきましては、昨年4月以来中断していましたが、模擬飛行装置としての器材改良作業並びに設置環境改善作業（新型コロナウイルス感染症対策）が完了し、今夏に再開しました。さらに、持ち運び可能なポータブルFTDの導入により、各種イベントにおいて一般の参加者が気軽に操縦体験が楽しめるようになりました。（5ページ FTD・ポータブルFTDの紹介をご参照ください）。

その他、一般の方々にもご参加いただく航空フォトコンテストなども計画しており、我が国航空の健全な発展に寄与する公益社団法人としての社会的使命を果たすべく各種事業に鋭意取り組んで参りますので、会員の皆様におかれましても、引き続き協会活動へのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い致します。

## イベント実開催判断フロー



【事業一覧表】

	定款に定める事業	事業計画	区分注
1	航空の安全文化の普及と啓発	スカイスクエア	公1
		Fly with us～空の仕事ワークショップ～	公1
		Be a pilot	公1
		航空安全セミナー	公2
		FTDを利用した裾野拡大	公1
		関係省庁主催委員会 委員 派遣	公1
		操縦士養成連絡協議会	公1
2	安全対策 (制度と運用)	航空医学適性セミナー	公1
		学科試験問題検討会	公1
		航空安全講習会	公2
		VOICESへの参画及び情報提供	公2
3	情報(知識)の 伝達と提供	小型航空機セーフティーセミナー	公2
		シンポジウム開催 「ATS」「航空気象」「フライトテスト」	公2
		TEM/CRMセミナー、SRMセミナー	公2
		参考文献及び教材提供 「区分航空図」「スタディーガイド」「AIM-J」等	公2
		航空情報提供 「ホームページ」「パイロット誌」「メールマガジン」等を用いた発信	公1
		航空身体検査Q&A	公2
4	技術習熟の支援	RNAV講演会	公2
		FTD を使用した技術習熟の支援	公2
5	情報収集と調査研究	航空業界における情報収集、諸研究のフィードバック	公2
6	その他、本協会の目的を 達成する為に必要な事業	福利厚生	他
		表彰関連事業	他

注：事業の区分

- 公1：（公益目的事業） 航空の安全文化の普及と諸般の調査研究を対象としている事業  
 公2：（公益目的事業） 運航の安全に資する知識の向上と情報提供および調査研究を対象としている事業  
 他：（その他の事業） 本協会の目的を達成するために必要な事業

【参考】

公益社団法人として内閣総理大臣の認定を受けています本協会の事業は、「公益目的事業」と「その他の事業」で構成されます。「公益目的事業」に属する事業はその対象によってさらに2つに区分されます。

# FTD事業を再開しました！

器材更新に伴い昨年(2020年)4月より中断していたFTD事業は、新器材に対する操作性改良作業、ならびに設置環境改善作業(新型コロナウイルス感染症対策)が整い、2021年夏に事業を再開しました。

再開に先立って、新器材初の体験搭乗を米国での基礎訓練に出発する直前の日本航空パイロット訓練生に経験していただき、操縦感覚を楽しんでもらうことができました。

会員の皆様には長期間に渡ってご不便をおかけいたしました。単発機・双発機のG1000仕様による模擬飛行装置として、会員のみならず多くの方に利用していただけるように、操作担当スタッフ(オペレーター)を増員しています。利用方法・利用料金等の詳細をJAPAホームページでご案内しています。



## ポータブルFTD(フライトシミュレーター)「TALON」の導入

2021年春に持ち運び可能なポータブルFTD(フライトシミュレーター)「TALON」を、裾野拡大事業の一つとして行う各種イベントでの体験操縦に活用することを目的に1台導入しました。「TALON」は公益財団法人「日本航空教育協会」が開発した簡易型のフライトシミュレーターです。

### 特徴

#### 1. シンプルかつ壊れにくい器材

27インチモニターと操縦桿、それに座席が一体となった構造をしており、重量は約23kgです。可動部分が操縦桿だけのため、子どもたちにみられる少々乱暴な操作でも壊れにくい構造となっています。

#### 2. 運搬と組み立てが容易

輸送用の専用ケースに収納して日本各地に運搬することができます。また、ケースから取り出した状態から、簡単に組み立てることができます。

#### 3. 運用の容易さと多様な操縦体験の提供

専用アプリを搭載したスマホを会員が操作することで、参加者に臨場感溢れる操縦体験を楽しんでいただくことができます。操縦を体験していただく機種を単発プロペラ機、ジェット旅客機、戦闘機、グライダー、ヘリコプターなどから、そして空港を世界中の空港から、それぞれアプリで選択して簡単に設定することができます。会員が隣でアシストすることで、誰にでも操縦の楽しさを知ってもらうことができます。



2021年のゴールデンウィークに熊本で開催された「くまもと空博2021」の会場に「TALON」を設置しました。(協力:九州支部・GA委員会)このときに操縦体験をした延べ300人の参加者からは大好評をいただきました。今後も各支部や空港でのイベントなどで、多くの青少年の皆さんに「TALON」で空を飛ぶ楽しさを体験していただく予定です。会員の皆さまも、JAPA事務所に来られる際には是非体験してみてください。

# 第56回通常総会開催報告

去る2021年6月18日(金)に羽田空港第3ターミナルビル4階「TIAT SKY HALL」で第56回通常総会を開催しました。

前回に引き続き、今回の総会も新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点で、「3つの密(密閉・密集・密接)を避け、出席者相互の距離を適切に保つ」ため、実出席者を代議員と理事の一部のみに制限して開催することとして、代議員の皆様には可能な限り議決権行使書の提出をもって出席に代えていただくようお願いし、また理事についても実出席人数を少なくして開催しました。



前回総会での決議をもって改正された定款により、今回の総会で議長を務めた井上伸一会長が開会を宣言しました。続いて、第56回通常総会が代議員全員の出席により定足数を満たして成立していることを事務局が報告しました。

◇代議員総数48人、出席代議員数48人(実出席8人、議決権行使書提出39人、委任状提出1人)

冒頭で井上伸一会長が挨拶に立ち、昨年度について各種イベントを実開催することができずオンラインでの開催となり、緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置により裾野拡大事業も多くは中止せざるを得なかったと振り返り、昨年リプレースを行い器材調整のため稼働が遅れていたFTDについて、ようやく諸調整が整い近日中に稼働する運びとなったことを紹介しました。

このあと議事録署名人に石田三喜代議員・船越篤代議員の2人が指名され、選任されたのちに議案の審議に入りました。

## 議案

### 審議事項

第1号議案 令和2年度事業報告及び決算報告について議案書の通り承認されました。

### 報告事項

令和3年度事業計画及び予算について議案書の通り報告されました。

質疑応答においては、出席された代議員に加え一般会員からもmailで質問・意見が寄せられ、「新たな代議員選挙規程でも不信任投票となっているが、公正な方法か」「FTD認定返納の経緯を再度伺いたい」「理事の選出方法・任期はどうなっているのか」等の質問が出されました。各業務執行理事より、新たな代議員選挙規程(代議員選挙に関する細則)をJAPAの実情に応じて、顧問弁護士に確認を取りながら他団体の選挙規定も参考に検討して制定したこと、FTD認定返納を常務理事会及び理事会で裾野拡大・技術習熟支援というJAPAの事業目的に照らした議論を経て決定したこと、理事の選出・任期は定款に定められた通りである旨の説明がありました。

議案の審議が尽くされたところで、議長が議事の終了を宣言し、最後に中島一郎副会長より閉会の挨拶がありました。

なお例年総会後に開催しています「協会長表彰」表彰式ならびに懇親会は、緊急事態宣言下であった状況を踏まえ、残念ながら中止としました。

# 第18回小型航空機セーフティセミナーについて

ビジネス航空委員会

小型航空機セーフティセミナーは、「ヘリコプターセミナー」及び「操縦士の教育・指導者講習会」を経て、2004年から開催されています。

2020年度の第18回小型航空機セーフティセミナーは、オンライン形式での開催となりました。事前収録によるライブ配信を3月15、16日に行い、その後、3月17～31日にJAPAホームページ上で会員へオンデマンド配信しました。多くのアクセスをいただき、合計240名の皆様に講演をご視聴いただくことができました。



## プログラム

### 3/15 (月) 12:30 ~ 16:00 小型航空機セーフティセミナー I

1	航空局基調講演	国土交通省 航空局 安全部 運航安全課長 平井 一彦 氏
2	D-NET について	国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構 (JAXA) 航空技術部門 次世代航空イノベーションハブ 災害対応航空技術チーム 小林 啓二 氏
3	羽田空港新経路と空域再編	国土交通省 航空局 交通管制部交通管制企画課 航空管制調査官 白谷 大輔 氏
4	運航拠点・対空集約実施計画	国土交通省 航空局 交通管制部運用課 航空管制運航情報調査官 徳井 隆宏 氏
5	首都直下地震救援航空機 安全対策マニュアルについて	内閣府 政策統括官 (防災担当) 付 参事官 (災害緊急事態対処担当) 付 参事官補佐 鈴木 将司 氏
6	無人航空機に係る航空法の概要と 環境整備に向けた取り組み	国土交通省 航空局 安全部安全企画課 課長補佐 山村 肇 氏

### 3/16 (火) 13:00 ~ 16:30 小型航空機セーフティセミナー II

7	実地試験等について	国土交通省 航空局 航空従事者試験官 一原 哲生 氏
8	運航審査等について	国土交通省 東京航空局 運航審査官 海老池 昭夫 氏
9	航空事故概要と事故調査	国土交通省 運輸安全委員会 事務局 統括航空事故調査官 奥山 克也 氏
10	航空機に影響を及ぼす気象現象と その対策	株式会社ウェザーニューズ 飯島 栄一 氏、東 衣里香 氏

## 2021年度 開催予定

2021年度の小型航空機セーフティセミナーは、2022年2月の開催を予定しています。開催方法やプログラム、参加申し込みの受付開始時期など詳細は、JAPAメールマガジン等でお知らせいたします。講演内容やセミナーに関するご要望等がございましたら、事務局へメールでご連絡ください。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

会員の皆様には日頃より航空身体検査証明不適合が疑われる心身状態では航空業務を実施しないことや、適切な医薬品の取り扱いに努めていただいていると思います。しかしながら日常の健康管理の中では、往々にして判断に迷う事例に遭遇することがあると思われます。今回も私たち操縦士にとって役に立つと思われる事例を取り上げました。

なおJAPAホームページには「航空身体検査Q&A」という欄があり、航空身体検査に関するご質問を常時受け付けておりますので、お気軽にご質問をお寄せください。

寄せられましたご質問につきましては、担当者がJAPAの医学委員会、航空医学研究センター、航空局などに確認を行った上で回答しております。

また、過去の質問・回答も当該欄のFAQにてご覧いただけます。

▶ 参照先 <https://www.japa.or.jp/health>

## 1 疲労リスク管理

### [問題]

睡眠負債による弊害の代表的なものは、短期的には脳の機能低下、中長期的には慢性的な脳機能低下に加え、糖尿病・高血圧・高脂血症などといった生活習慣病に関与するものがあります。疲労リスク管理に関する以下の記載は正しいでしょうか。

「疲労リスク管理とは、睡眠管理により短期的な弊害としての脳の機能低下をどのように予防するかということの主眼にしているものである。」

- ① 正しい。    ② 正しくない。

### [正解]

- ①

### [解説]

個人差はあるものの、健常な成人は一般的に7-9時間の睡眠が必要とされています。もしこの睡眠が犠牲になった場合、代償を伴うこととなります。記憶・学習・注意力の維持・仕事のパフォーマンスや気分など、睡眠は広く健康に関与するということが睡眠医学の研究で明らかになってきました。

2009年2月、米国コルガン・エアの墜落事故が発生し、事故原因が前日の睡眠の質と量の不足に関連する疲労のためと結論付けられました。そのためICAOを中心に、疲労リスク管理に関するタスクフォースが立ち上がり、世界的に大きな動きとなりました。「人間の行動(操縦を含む)は脳によって制御されており、眠気とはその脳の機能が低下した状態である。それを短期的に予防し回復させるには睡眠を効率よくとるしかない。」

これが疲労リスク管理の基本的な考え方になっています。

## 2 自己申告

### [問題]

これまで大きな病気の既往がないパイロットが、ショーアップ後フライト直前に一過性の失神を認めました。意識はごく短時間で戻りました。頭をぶつけたりもしておらず、気分も悪くなかったので、そのままフライトは可能であると自分で判断しました。以後の対応で正しいのはどれでしょうか。

- ① そのまま自己判断してフライトする。    ② 乗員健康管理医、指定医の判断を仰ぐ。

### [正解]

- ②

### [解説]

短時間の意識消失から気分が戻った場合、自分では乗務に支障が無いと判断するかもしれませんが、航空身体検査マニュアル上「意識障害又はその既往は不適合」です。よってこの場合は乗務停止が必要となります。

航空法七十一条において、「航空機乗組員は、第三十一条第三項の身体検査基準に適合しなくなった時は、第三十二条の航空身体検査証明の有効期間内であっても、その航空業務を行つてはならない。」とされています。

身体検査証明の有効期間中における不適合状態か否かの判断は基本的にはパイロット本人が行いますが、パイロットは医学の専門家ではないので身体検査基準に関する判断が難しい場合があります。そのため航空会社においては乗員健康管理医が判断する（連絡が取れない場合は、指定医でも可）ことが望まれています。（国空航1389号）

## 3 高血圧(薬)

### [問題]

高血圧の薬として、カルシウム拮抗薬とACE阻害薬の2剤を飲んでいますが、このところダイエットに成功し体重が5kgほど減ったためか、血圧が100を切るようになりました。主治医から降圧剤の減量を勧められましたが、降圧剤服用の開始時のようにまた2週間も乗務を停止しなくてはならないのかと思い悩んでいます。次の内正しいのはどれでしょうか。

- ① 乗務停止は必要ないが、血圧を頻回に測定し適正な値であることを確認する。
- ② 1週間乗務を停止し、血圧を頻回に測定して適正な値であることを確認後、乗務に復帰する。
- ③ 2週間乗務を停止し、血圧を頻回に測定して適正な値であることを確認後、乗務に復帰する。

### [正解]

①

### [解説]

2019年6月の「医薬品取り扱いに関する指針」の改訂により、降圧剤の減量時の記載が変更となり、「最低2週間に一度血圧測定を行い、基準値を超えないことを確認すること」という文言が削除されました。従いまして乗務を停止する必要はないのですが、「少なくとも1ヵ月注意深く経過観察が行え、病態に変化のないことが確認できる」ことが必要となります。具体的には自宅で血圧を計りながら、血圧が急上昇した場合など減量の中止や乗務停止を考慮する必要がある場合には、主治医及び乗員健康管理医(又は指定医)の指示を仰ぐのが良いと思われます。

## 4 循環器疾患—心房細動

### [問題]

健康診断(身体検査)における心電図検査で心房細動を指摘されましたが、自覚的症状はありません。次のうち正しいのはどれでしょうか。

- ① 自覚症状がないので乗務を継続して差し支えない。
- ② 経過を観察して正常洞調律に回復すれば支障ない。
- ③ 専門医を受診し、内服薬で正常洞調律に回復すれば支障ない。
- ④ 直ちに乗務を停止し、指定医又は健康管理医に報告し、乗務復帰のための治療などを検討する。
- ⑤ 上記のいずれでもない。



### [正解]

④

### [解説]

心房細動は短時間や一過性でも、心房内の血栓による脳塞栓(脳梗塞)などのリスクがあるために不適合となります。治療の選択肢として、未治療、内服治療、カテーテルアブレーション治療のいずれかを選択しなければなりません。いずれも毎月1回のホルター心電図を実施して、心房細動が出現しないことを6ヶ月確認しなければなりません。その上で審査会に提出し、判定を仰ぐこととなります。

# コロナ禍における国際航空貨物輸送

常務理事 山村 洋司

## はじめに

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大の影響によって人の移動が制限され、航空会社は国際線を中心に大幅な減便を強いられています。そんな中、航空貨物においては自動車部品、半導体、電子部品などの堅調な荷動きに加えて、コロナ禍の「巣ごもり需要」でパソコンやゲーム機器などの取り扱いが増加しています。航空貨物事業が旅客収入の低迷に喘ぐ航空会社にとって救世主となっているようです。最近では、新型コロナワクチンを搭載した飛行機が成田空港と関西空港にそれぞれ到着した映像や、日本政府が台湾に提供した新型コロナワクチンを輸送する飛行機の映像がテレビのニュースなどで使われたこともあり、航空貨物への社会の関心が高まっています。

筆者は現在ANAでボーイング787型機に乗務しています。最近では旅客機に貨物のみを搭載して運航するフライト(ノパックス便)に乗務する機会が増えました。先日もサンフランシスコからアメリカンチェリーを満載したNO PAX便で帰国しました。その時は、温度調節の要望を伝えるNOTOC<sup>1</sup>を受け取ったことで、アメリカンチェリーの搭載を知ることができました。しかしながらNOTOCを必要としない一般貨物に関しては、搭載されている貨物の具体的な品目や最終目的地が乗員に伝えられることはありません。そこで、搭載貨物の中身を教えてもらおうとANA Cargoを取材しました。

## 国際航空貨物の中身

筆者は路線ごとに主要な搭載品目があるものと想像していましたが、取材を通して航空貨物では面(エリア)で需要を捉えていることが分かりました。エリアとエリアを結ぶフライトに搭載されている主要な品目を紹介してもらいました(表1)。発地と着地のいずれも日本ではない輸送区間では、中継地点が国内の空港です。旅客という乗り継ぎです。バンコク発成田行きのフライトには、アジア→北米とアジア→欧州の区間で輸送される貨物が日本向けの貨物とともに搭載されています。

表1 ANA Cargoが取り扱う航空貨物の主な搭載品目

輸送区間	主要な搭載品目
アジア → 北米	自動車関連、半導体・電子部品関連など
北米 → アジア	医薬品・医療機器、自動車部品など
アジア → 欧州	ヘルスケア関連、自動車部品、PC・スマホ関連、衣服関連など
欧州 → アジア	医薬品・医療機器、電子部品、輸入食材(チーズ・チョコレート等)など
日本 → 中国	電子部品・半導体製造関連、建機、産業機器、ECなど

航空貨物運賃は重量と体積によって算出されますが、その単価は発地と着地で決められています。どこを経由しようが、何回載せ替えようが、どれだけの距離を迂回しようが、基本的に単価は同じです。また、空港と同じエリアにある拠点を結ぶロードフィーダーサービスと呼ばれるトラックによる陸上輸送網を使って、貨物が広域で集荷・配送さ

れています。たとえば、仕向地がニューヨークである航空貨物をシカゴ線に搭載して、シカゴとニューヨークを結ぶロードフィーダーサービスを使って輸送することも一般的です。筆者は旅客便のイメージでNO PAX便に乗務していたため、どうしても路線単位で搭載品目を把握しようとしていましたが、前述の如く航空貨物では線(路線)よりも面(エリア)で需要を捉えることが適切であると理解しました。



ボーイング777フレイター(貨物専用機)のメインデッキに貨物を搭載する様子

## 新型コロナウイルスの輸送

航空貨物は適切に梱包された状態で航空会社に搬入されてきます。ANAが輸送しているファイザー社製の新型コロナウイルスワクチンは、ファイザー社が手配している専用保冷箱にドライアイスとともに梱包されています。航空貨物代理店が新型コロナウイルスワクチンの収められたこの専用保冷箱を、航空輸送用にパレットやコンテナに積み付けてANAに搬入しています。そこから成田空港に到着して荷受人に引き渡すまでの時間、一貫してマイナス70度以下の温度を保つためには大量のドライアイスが必要とします。ドライアイスは昇華して気体になると体積が750倍に膨らむほか、これを吸い込んだ人に二酸化炭素中毒を引き起こす恐れがあります。航空輸送では危険品に分類されていて、機内に搭載できる量(搭載可能重量)には制限があります。この搭載可能重量いっぱいドライアイスを入れた場合でも、マイナス70度以下の温度を長時間維持して輸送できるワクチンが少量であることが分かりました。そこでANAではこの特定の専用保冷箱で輸送する場合に適用するドライアイス搭載可能重量の上限を航空機メーカーと調整し、航空局に申請して輸送を始めています。

## NO PAX便で採算がとれる背景

ANAは採算性を精査してNO PAX便を設定しています。コロナ禍の「巣ごもり需要」の拡大や海上輸送の混雑が原因で航空貨物の需要が高まっている一方で、床下の貨物室を使って航空貨物を輸送していた旅客便がコロナ禍で大幅に減便された結果、2020年3月からは航空貨物輸送力の供給不足が続いています。この需給環境によって2020年下期には航空貨物の単価が前年同期比で2.2倍<sup>2)</sup>にまで高騰しました。需給が逼迫しているときには満載となる貨物が自然と集まります。空港での旅客サービスや保安検査、航空券の販売費用、機内サービスなどの営業費用を必要としないNO PAX便は、貨物運賃単価の上昇と搭載量の増加によって貨物収入のみで採算がとれるのです。

## 国際航空貨物事業の展望

需要については、2020年度下期の需給環境が当面は継続して、好調が続くとみえています。しかしながら、経済面でのCOVID-19対策として導入される施策によって需要動向は変動することから、今後も需要動向の推移に注視していくとしています。また生産量については、毎月の需給環境を的確に見定め、貨物専用機または旅客機を活用して、機動的に臨時便・チャーター便を月次計画で設定していくとしています。

## おわりに

筆者はこれまで旅客機のパイロットとして、目的地に到着したときに降機するお客さまの笑顔を見て、無事に送り届けた達成感を感じていました。しかしCOVID-19の影響で突然に貨物便を、それもいつもと同じ旅客機で運航するようになり、そうした達成感を感じられなくなっていました。今回の取材でNO PAX便のお客さま(航空貨物)の横顔を理解することができたように思います。社会に貢献できていることを知り、これまで以上に仕事の達成感を感じることができそうです。

1.Special Load-Notification to Pilot-in-Commandのこと。温度調節の要望や、危険物の搭載情報を機長に伝える書類。

2.ANA Cargoが取り扱った国際貨物全方面の平均値(ANAホールディングス決算資料)

# Fly with us ～空の仕事ワークショップ～の紹介

エアライン委員長 田中 天兵

エアライン委員会より「Fly with us ～空の仕事ワークショップ～」を紹介致します。このイベントは昨年度まで「Yes I Can航空教室」という名称で開催しておりましたが、今年度より名称を変更することとなりました。名称変更に至った背景や新名称に込めた思いを紹介しながら、今後の取り組みについてお伝え致します。

## 名称変更に至る経緯

JAPAの航空教室として「Yes I Can航空教室」は10年以上の歴史があり、多くの学生に参加してもらいました。エアラインの第一線で働く現役社員を講師に迎え、航空業界を志望する学生に現場の生の声を届けてまいりました。また学生が持つ疑問・質問に対して現役社員の方々が真摯に受け答えしていただき、航空業界を目指す気持ちをより一層強くする学生を数多く見ることができました。まさに「Yes I Can」というキーワードが示すとおり、参加した学生が「きっと私も航空の世界で活躍できる」と自信をつけることができるイベントでした。

一方で、JAPAの航空教室の存在を知らない学生にとってはその名称によってイベントのイメージが湧きにくく、参加に対するハードルが高くなっているという声もありました。そこで、さらにより多くの学生にJAPAの航空教室に参加してもらおうと『誰が』『誰にむけて』『なにをするイベント』なのかがわかるような名称に変更することとしました。



新名称でも全国でお会いしましょう

## 新名称「Fly with us ～空の仕事ワークショップ～」に込められた思い

JAPAの航空教室は、現役のエアライン社員が航空業界を目指す学生にむけて情報を提供し、その夢を叶えるための応援メッセージを伝える場です。そして学生に少しでも多くの気づきを持ち帰ってもらい、夢を叶えるためのモチベーションを上げて欲しいと願っています。そんなイベントであることが伝わるようなキーワードを新名称に用いましたので以下に紹介致します。

### 「Fly with us」

空の仕事に携わる現役の社員（パイロット、客室乗務員、空港旅客、管制官）から、これから航空業界を目指す学生に向けて「一緒に空を飛ぼう」という歓迎のメッセージを込めています。

### 「空の仕事」

このイベントが航空の仕事内容や就職活動に焦点を当てているためにつけたフレーズで、どのようなテーマを扱うイベントなのかわかりやすくしました。

### 「ワークショップ」

このイベントはただ話や説明を聞いて帰るだけのイベントではないということを表しています。学生から現役社員に質問をしたり、グループディスカッションで同世代の仲間と刺激を与え合うなど、情報だけではなく多くのものを持ち帰ってもらいたいとの思いを込めています。

## 新型コロナウイルス感染症対策

2021年4月に新名称でスタートを切った「Fly with us ～空の仕事ワークショップ～」ですが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を大きく受けており、上半期に予定していたイベントは開催中止を余儀なくされています。会場に直接足を運んでいただいていたその場限りの出会いから生まれる熱量こそがこのイベントの特徴ですので、当協会のセミナー・講習会開催における注意事項(14ページに掲載)を順守して新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に最大限に配慮しながら開催できる道を探っていきたいと思っております。10月以降も全国での開催を計画していますので、感染拡大の収束を願いつつ、万全の準備を整えてまいります。



新型コロナウイルス感染症対策を徹底して開催

## 今後に向けて

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を大きく受けている当イベントではありますが、感染対策のためにプログラムの変更を施し、より多くの学生に参加してもらいやすい新名称に変更するなど、今できることをおこなっております。昨年唯一開催することができた福岡会場においては、「このような時期に開催してもらって大変ありがたい」というアンケート結果を数多くもらいました。航空業界の未来はこれからの若者の参加がなくては成り立ちません。「今は業界全体の勢いがなくなるのは仕方のないことかもしれませんが、必ず航空業界はまた飛躍の時を迎えます。その時にみなさんの力が必ず必要となるので夢を諦めないでください」というメッセージを職種や企業の垣根を超えて業界一丸となって学生に届けるためにも、今後も「Fly with us ～空の仕事ワークショップ～」を計画してまいります。新名称になりました当イベントをどうぞよろしくお願い致します。

なお、今後の開催スケジュールについては当冊子の巻末にあります「セミナー開催のご案内」およびJAPAホームページをご覧ください。

## ～各表彰報告～

航空関係事業の発展に尽力し、その功績が顕著であり、且つ各職種においての成績が優秀な会員の方を協会より推薦させて頂いております。受賞者の皆さま、おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

### 春の黄綬褒章

中島 一郎 様 (日本航空)  
野中 浩司 様 (日本航空)  
野村 達也 様 (全日本空輸)

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、伝達式及び皇居での天皇陛下への拝謁は中止となりました。

### 会長奨励賞

朝倉 佐央里 様 (法政大学)      河田 拓万 様 (桜美林大学)  
小林 風馬 様 (帝京大学)      千明 慧悟 様 (東海大学)  
安間 基気 様 (崇城大学)      大杉 僚 様 (航空第65回生1期)

※大学・大学の操縦士養成課程卒業生の成績優秀者に対しJAPA会長が行う表彰



### 協会長表彰

芳賀 誠 様 (全日本空輸)      松田 明雄 様 (セントラルヘリコプターサービス)  
浅田 幸彦 様 (全日本空輸)      小松 哲也 様 (朝日航洋)  
濱田 善明 様 (全日本空輸)

※航空界に貢献しその功績顕著な会員に対しJAPA会長が行う表彰  
新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、表彰式は中止となりました。

# セミナー・講習会開催における注意事項

JAPAが主催するセミナー・講習会等のイベント開催につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、ご参加のみなさまへの注意事項や連絡事項を取り決めております。

セミナー・講習会へのご参加にあたりましては、下記内容をご確認いただきますようお願いいたします。

## 記

- 1 当日受付にて体温・体調のチェックをさせていただきます。  
体調が優れない方、風邪の症状や、37.5度(平熱より+0.5度)の体温がある方は、参加をお控えください。
- 2 参加の際は、必ずマスクの着用をお願いいたします。  
マスクを着用していない方の参加をお断りします。
- 3 当日はソーシャルディスタンスの確保のため、着席可能な座席を指定させていただきます。
- 4 会場の出入り口で手指の消毒をお願いいたします。
- 5 受付のスタッフは手袋着用、または都度手指の消毒を行います。
- 6 会場内での食事は禁止です。なお飲み物はお持ち込みいただけます。
- 7 当日会場は、窓やドアを開けて換気を行います。
- 8 感染拡大防止のため、政府・自治体から法令に基づく情報提供を求められた場合は、参加者の個人情報を提供いたします。



※新型コロナウイルス感染症の拡大の状況により、イベントを延期または中止する場合がございます。その際は、JAPAホームページで改めて周知するとともに、参加者予定の方へはメールもしくはお電話にて直接ご連絡いたします。

以 上

公益社団法人 日本航空機操縦士協会 事務局

## 職員紹介

事業サポート部 三角 暁雄 (みすみ あけお)



はじめまして。2021年7月15日付けで事業サポート部に着任いたしました、三角暁雄です。どうぞよろしくお願いたします。

出身は東京都世田谷区、現在は横浜市中区に妻と猫2匹と住んでいます。

前職の日本航空(株)には1988年に入社、航空機の重整備の現場を経験した後、運航技術部に配属され、フライトデータの仕様管理、747-400の導入、領収検査などに携わりました。その後、整備本部のシステム技術室に異動、EGPWSなど電装システムの装備、改修に関わり、再び運航本部に移籍後は、FDMの法制化対応、SMSの導入、LOSAの推進など、運航安全分野において約17年の経験を積みました。この間、JAXAに4年間出向し、LASER技術を用いた晴天乱気流検知装置の研究開発プロジェクトに参画する機会にも恵まれました。

航空機の操縦全般に関しては、知識も経験も乏しく、ご迷惑をお掛けすることになりますが、できるだけ早く職場の環境に溶け込み、業務に慣れ、みなさんと共に、事業の発展と我々しか成し得ないJAPAのプレゼンスの向上に寄与して参ります。

この歳で新入職員の心持を思い起こし、少々緊張しています、どうぞ温かい目で迎えてください。

趣味は、幼少期に親が習わせてくれたクラシックピアノ、いまでも寝る前に少しずつ練習しています。健康面では、最近舌癌の手術を行い活舌に聊か難もありますが、習慣となった朝ヨガで心身と呼吸を整え、2年前に始めたボクササイズでも、サンドバックに立ち向かいながら日々体力の増進に努めています。

## 会員 福利厚生のご案内

JAPAにご入会頂いた会員の皆様には書籍やセミナーの割引のほかにも  
こんな特典があるのはご存じですか？  
今回はそんな会員の皆様にお得な福利厚生をご紹介します！



- 鳳文書林出版販売 発行書籍 10%割引
- 各空港内売店(一部) 5%割引
- 高島屋(一部) 5%割引



- タイムズカーレンタル
- オリックスレンタカー
- バジェットレンタカー沖縄



- 協会顧問弁護士へのご相談



- リーガロイヤルホテルグループ
- ゴルフ場
- その他宿泊施設 等



- 羽田空港第1第2、国際線旅客ターミナル
- 東京エアポートレストラン 運営店舗 現金支払時10%割引
- 銀座ライオン羽田空港マーケットプレイス店
- ブラッセリー 銀座ライオン羽田空港店 現金支払時10%割引

各施設のご利用方法や詳細はJAPAホームページをご参照ください。 TOP → 入会案内 → 会員特典

# 今後のJAPAセミナー開催予定

セミナータイトル	開催日 / 開催地区
Fly with us ～空の仕事ワークショップ～	10月2日(土)《福岡》開催予定
	10月23日(土)《大阪》開催予定
	12月11日(土)《愛知》開催予定
	2022年2月《沖縄》開催日調整中
	2022年2月《愛媛》開催日調整中
	2022年3月《新潟》開催日調整中
ATS シンポジウム	10月30日(土) オンライン開催
航空気象シンポジウム	11月20日(土) 大田区産業プラザPIO 小展示室
RNAV 講演会	第2回・第3回 開催日調整中
小型航空機セーフティセミナー	開催日調整中
TEM/CRM セミナー	基礎コース 12月開催日調整中
	SRM コース 9月開催日調整中
航空安全講習会	北海道・沖縄・大阪・東京 開催日調整中

- ◆ 開催日調整中のセミナーについては、開催日を後日 JAPA ホームページ、メールマガジンでご案内いたします。
- ◆ 新型コロナウイルス感染症対策により、開催中止や開催方法の変更が生じる場合がございます。

## 航空フォトコンテストのご案内

初めての取り組みとして、9月・10月に航空フォトコンテストを開催する予定です。詳細は8月中にJAPAホームページに掲載しますので、ご確認ください。

教育文化委員会



## JAPAメールマガジン配信中!

毎月 JAPA のセミナー情報や通達等の安全情報を配信しています! 未登録の方は是非ご登録ください!

### 《登録方法》

QRコードから空メールを送信して頂くと、メール送信サービス会社より登録用フォームのURLが届きますので、フォームに必要事項を入力して登録してください。

登録はこちら



## JAPA会員ページへの登録はお済みですか?

JAPA会員ページではAIM-JAPANをはじめとする便利な電子書籍の閲覧や、登録住所の変更を行なうことができます。まだ初期登録がお済みでない方は是非、お手続きください。

### 入会のご案内

当協会は現在約7,000名の会員が所属しており、エアライン、航空事業会社、官公庁そして自家用操縦士等の会員により構成されております。皆様も航空業界の仲間たちと共に活動しませんか?

### ◆入会方法

1. JAPAホームページ入会申込書請求フォームにて入会申込書をご請求願います。
2. 当協会より入会申込書を送付させていただきます。
3. 入会申込書に必要事項を記載の上、ご返送ください。  
会員資格・特典・会費等についてはJAPAホームページをご参照ください。

日本航空機操縦士協会について  
詳しくは JAPA ホームページへ

[www.japa.or.jp](http://www.japa.or.jp)

JAPA

検索

パイロット

Vol. 19  
2021 Summer

発行 | 公益社団法人 日本航空機操縦士協会  
(Japan Aircraft Pilot Association)

〒105-0004 東京都港区新橋5-34-3  
TEL 03-6809-2902(代) FAX 03-3434-7774  
JAPAホームページ URL <https://www.japa.or.jp/>  
E-mail: [japa@japa.or.jp](mailto:japa@japa.or.jp)

禁無断転載

落丁・乱丁本がありましたらお取替えいたします

編集 広報・企画委員会  
発行 畑辺 三千夫  
印刷 星光社印刷株式会社